

魚介類は食資源として利用されている生物種に限っても陸上生物をはるかに凌いでいます。しかしながら、その資源は有限であり、無駄にすることはできません。

その多岐にわたった生物たちが進化の過程で獲得してきた生物戦略を、生化学的、分子生物学的、生理学的、物理化学的、情報生物学的な手法を駆使して紐解きながら、それらをできる限り有効利用することを目指しています。

研究対象とする生物種は微生物から哺乳類にまでわたり、その成果は、基礎科学の発展だけでなく、食品、エネルギー、環境分野に広がり、ヒトの健康やQOL向上にも生かされ、しっかりと社会にも還元されています。

研究テーマ

細胞内および細胞間情報伝達機構/**Intra- and intercellular signaling mechanisms**

エネルギー代謝制御機構/**Mechanisms for the modulation of energy metabolisms**

ストレス応答の生物学/**Stress biology**

水産食品の品質向上と安全の確保（毒、アレルギーなど）

/**Quality control of marine foods and securing food safeties (marine toxins, allergen controls)**

魚食によるヒトの生活習慣病やアンチエイジング/**Anti-ageing food**

味覚改善物質の探索/**Searching compounds for taste improvement of food**

比較生物学によるOne healthの実現/**Global one health on the basis of comparative life sciences**

水産業・養殖業の隆盛/**Prosperity of fisheries and aquaculture**

超高齢化社会におけるQOLの向上/**Improvement of QOL in ageing societies**

